

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	口腔ケアに抵抗がある利用者様は、毎食後必ず口腔ケアができていないという状況ではない。	毎食後、利用者様全員が一人一人に合った方法で口腔ケアを行える。	・スタッフも、食後は必ず一緒に歯磨きをすることで、“歯磨きの時間”という雰囲気を作る。その際、スタッフは2人以上の利用者様に声をかけて誘う。 ・フロアミーティングで各利用者様個別に対応を検討する。その内容について毎日取り組み、適切なケアを見つけ、実践する。	3ヶ月
2	21	利用者様同士のトラブルがあった場合、両者にスタッフがフォローを入れても、十分にお互いが納得するまでフォローが行き渡らず、どちらかが不快感をぬぐい切れずにいることがある。	利用者様一人一人の気持ちのケアを行い、誰もが“快”の感情で過ごせるよう支援する。	・利用者様同士の関係についてフロアミーティングで取り上げる中で、成功したフォローの方法・うまくいかなかったフォローの方法を共有し、適切なケアを見つけ実施する。	6ヶ月
3	39	女性でも加齢に伴い薄いひげがある方がいる。それを気にされる方もいらっしゃるが、男性のように定期的にケアできていない。	女性利用者様のひげを、気持ちの面に配慮しながら定期的にケアをする。	・入浴時、さりげない会話から『ひげをそりたい』というニーズを引き出し、“個別”となる入浴時にひげの手入れをさせて頂く。	3ヶ月
4	29	「地域との関わり・地域への参加」という観点から見ると、これまで地域行事には参加する(時には招いて頂く)ばかりであった。これからは、地域住民の一員として、スタッフ・利用者様ともに行事の準備段階から関わり、より地域の中に溶け込む必要がある。	地域行事に準備段階から関わり、その中で認知症について地域の方により理解して頂く。そのことで、更に行事を楽しむ事ができる。	・地域行事の予定、それに関わる地域住民の動きを調べて、関わり方の計画を立てる。そして、実際に準備段階の会議等から参加していく。	6ヶ月
5	48	個々の能力に合った役割を持って頂くようにしているが、認知症のレベルによってできることに差が出てしまい、利用者様同士のトラブルの原因となる。	利用者様同士、それぞれが尊重し合い感謝し合えるよう、できることを更に活かした役割を持って頂く。	・フロアミーティングで、現状『役割』とスタッフが認識していることについて、利用者様のできることと照らし合わせながら、他に『役割』とできることはないか検討する。 ・スタッフは利用者様に、『この方はこういったことが得意です』『こういったことをやってくれていますよ』と他の利用者様の役割を伝える。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。